感染症を考える月間

メインイベント

感染症と共に生きる社会

―不確実な状況のなかで、どう判断し、どう伝えるか―



尾身 茂 先生
公益財団法人結核予防会　理事長

未来の感染症危機に、私たちはどう備え、どう行動していくべきか。

新型コロナウイルス感染症への対応は、限られた情報と不確実な状況の中で、専門家、行政、そして県民がそれぞれの立場から判断と行動を重ねてきました。
本イベントでは、経験を振り返り、異なる立場からの視点を共有し、
次の感染症危機に向けて、私たちが今後どうするべきかを考えます。

日時
令和８年
11月12日(木)
13:00～16:00
（開場 12：30）

会場
大津市生涯学習センター 1階ホール

会場へのアクセスはこちら
https://www.city.otsu.lg.jp/sc/l/c/index.html

対象
- ご興味のある方
- どなたでもご参加いただけます

交通手段について
会場の駐車場は使用できません。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

参加無料

事前申込制（定員500名）

申込はこちら
締切　令和8年~~10月30日(金)~~
延長しました！　11月10日(火)

このイベントで考えること

1 判断する
不確実な状況のなかで、何を拠り所に判断するのか

2 伝える
専門家や行政は、どう伝え、どう向き合うのか

3 備える
次の感染症危機に向けて、私たちはどう備え、どう行動するのか

プログラム

基調講演　（60分）

新型コロナウイルス感染症対応 ～何を考え、何を悩んできたのか～

講師：尾身 茂 先生
（公益財団法人結核予防会　理事長）

座長：切手 俊弘 次長
（滋賀県健康医療福祉部）

パネルディスカッション　（60分）

異なる立場からの経験を共有し、次の感染症危機に向けて考えます。

座長：中野 恭幸 先生
（滋賀医科大学医学部附属病院 教授）

パネルディスカッション登壇者

- **尾身 茂 先生**
  公益財団法人結核予防会　理事長
- **砂川 富正 先生**
  国立健康危機管理研究機構
  国立感染症研究所 応用疫学研究センター長
- **大江 秀典 先生**
  滋賀県立総合病院　感染管理室　室長
- **川上 寿一 先生**
  滋賀県保健所長会　副会長
- **福田 正悟 先生**
  ふくだ医院 院長

お問い合わせ
滋賀県健康医療福祉部 健康危機管理課
E-mail:kansenkensyuu@pref.shiga.lg.jp　TEL:077-528-3632